愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	専門プロジェクトⅠ		
担当者(Instructors)	Tran ThiTuyetNhung	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

学生を主体に商店街活性化のプロジェクトを立ち上げます。日本の商店街は、大型商業施設やEコマースとの競合、集客力の弱化、店舗等の老朽化、後継問題等多くの課題に直面しています。しかし、大型商業施設があるとは言え、商店街の存在意味がないことはありません。商店街は地域の特性や文化を反映して、地元の経済に貢献し、地元の住民や事業者が交流し、また地域コミュニティの拠点となる大きな価値を持っています。そのため、商店街を活性化し、地域経済の活性化に貢献することがこのプロジェクトの目的です。学生は若者の視点から商店街の課題を検討し、どうすればその課題を解決できるか自分から考えて、商店街の活性化のためのアクションプランを提案することがこのプロジェクトの主な活動です。毎年２月に行われる「地域と連携した授業・活動報告会」をゴールとして取り組みます。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行います。グループワークやプレゼンテーションを中心的に行います。 受講者が多数の場合、チーム別で行うことを基本とします。 情報収集及びプレゼンテーション作成等のためにノート型PC等のツールを持参する必要があります。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	プロジェクト型学習の進め方を説明します。 プロジェクトの目的と実施方法を説明します。	□
第2回	日本の商店街の現状の調査（１）	インターネットや書籍など2次データを中心に日本の商店街の現状を調べて現状と課題を明確化します。	□
第3回	日本の商店街の現状の調査（２）	インターネットや書籍など2次データを中心に日本の商店街の現状を調べて現状と課題を明確化します。	□
第4回	地域の商店街の検討	名古屋市の商店街を中心に調べます。 どのような商店街があるか、どんな状況であるか、どんな課題に直面しているかについて調べます。	□
第5回	調査対象の商店街の設定	名古屋市の商店街を中心に調査対象を検討します。 大須商店街、円頓寺商店街等が調査対象になるか検討します。	□
第6回	中間発表の準備	商店街の現状や課題について調べた内容をまとめます。 発表資料（PPT資料）を作成します。	□
第7回	中間発表	PPT資料を用いて発表をします。	□
第8回	調査対象の商店街の決定	現地の観察や調査を検討して決めます。	□
第9回	現地調査内容の設定	現地調査の準備をします。 どんな課題を中心に調査するか調査の項目を作成して準備します。	□
第10回	商店街の現地調査	直接商店街を訪れて現状と課題を考察します。	□
第11回	現地調査のまとめ（１）	商店街調査の結果をまとめます。	□
第12回	現地調査のまとめ（２）	商店街調査の結果をまとめて調査報告書を作成します。	□
第13回	アクションプランの設定	調べた結果と現地調査結果を検討し、商店街の課題を明確にして、それに対して解決策を提案し、アクションプランを設定します。	□
第14回	アクションプランの発表	アクションプランを発表します。	□
第15回	総括	プロジェクトの全体のまとめ	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎回の演習内容について調査・予習すること（２時間程度）。演習後は、演習で取り組んだ内容や活動について自分の考えをまとめ、次回演習のアクションプランを作成すること（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
質問は演習中に随時受け付ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	◆ 2021地域ビジネスDP3	調査資料のまとめ、プレゼンテーションの発表ができます。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業の調査資料、発表のプレゼンテーションその他：ディスカッションへの積極的な参加、プロジェクトへの貢献

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし資料等を授業内で配付します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	演習時に指示します。	
2		
3		
4		
5		